

平成22年度(平成23年1月～3月)

市の主要事業のあゆみ

経済成長戦略の推進

観光客の誘致を進めるための地域資源活用を紹介します。

《平成23年1月～3月取組み》

《概要》

■B級ご当地グルメ検討会の開催

昨年6月から4回にわたり、市内の料理人など6人が、豊岡らしい魅力のあるB級ご当地グルメの開発・掘り起こしに向けて検討。「素材そのもののおいしさがすごい」、「但馬牛を食べられる場所がない」、「但馬牛の繁殖地として注目すべきは母牛」、「郷土料理などの掘り起こしも必要」、「豊岡の食は独自路線で進むべき」と、出た意見はさまざまでした。

■視察研修の実施

但馬牛の経産牛(お産を経た牛)について、そのルーツ、歴史、価値など、知見を深める研修会を実施。美食の観点からだけでなく、「健康」とい

う価値観で経産牛を評価しようとしている方、「本場」としてのブランド牛を守るために、

地元での普及啓発に力を入れていられる方、生産者にもお金がまわる「好循環」を守るために頑張っている方たちから学びました。

■経産牛の料理試食会開催

研修を踏まえ、3月22日、全日本司厨士協会兵庫県本部からシェフを招き、市内のレストランで試食会を開催しました。



▲試食会は大好評

《今後の予定》

B級グルメ路線から方向転換し、豊岡らしいストーリーのある安全安心・健康・環境へも貢献する食で「食の都づくり」に取り組みむこととします。経産牛のほか、コウノトリ育むお米やジビエ、在来種の野菜などを地域資源として育て、磨く取組みを進めます。

コウノトリ施策(生物多様性関連事業)の推進

《平成23年1月～3月取組み》

昨年10月30・31日に開催した「第4回コウノトリ未来・国際かいぎ」(テーマ:野生復帰がもたらすもの)コウノトリが紡ぐいのち・地域・経済・文化)において「コウノトリ宣言」が採択されました。この宣言の中の将来目標を

念頭に置きながら、本市の生物多様性保全の将来の方向性について検討を進めました。

《今後の予定》

平成23年度から2カ年かけて、市民と連携しながら「豊岡市生物多様性地域戦略」を策定します。

これは、コウノトリ野生復帰の取組みを核に、コウノトリの定着に向けた地域づくりの戦略を通して地域全体の生物多様性を見つめるものです。その他、新規事業、拡大事業としては、次のようなものがあります。

① 知の誘引事業

研究フィールドとしての豊岡の価値を高めるため、大学

の単位取得講座を誘引する仕組みを新設します。平成23年度は東京大学の講座として田結地区の湿地を中心にフィールド演習を行います。

② 小さな市民活動支援助成事業

地域の生物多様性保全に目を向けた市民活動を後押しする仕組み(助成制度)を新設し、コウノトリ野生復帰の取組みに関わる仲間を増やします。

③ ボランティアの日

「生きもの応援デー」

市民ボランティアの日を新たに設定し、子どもから大人まで大勢の市民の参加を得ながら、豊岡に生きもののにぎわいを創出します。

④ 自然生態系保全事業

円山川下流域における外来魚駆除作戦や、日高地域に生息する絶滅危惧種アベサンショウウオの保護活動を強化します。



▲みんなで行動! 生物多様性

豊岡駅前広場整備事業



▲新しいJR豊岡駅舎

《平成23年1月～3月取組み》

2月13日に新しいJR豊岡駅舎がオープンしました。

新駅舎では、改札は2階となり、駅東西連絡道からも出入りができ、エレベーターまたは階段でホームに降りられるようになりました。

また、新駅舎の前には、豊岡こうのとりライオンズクラブの寄贈によるコウノトリのモニュメント時計も設置されました。



▲モニュメント時計

新庁舎建設事業の推進



▲議場イメージ図

《平成23年1月～3月取組み》

■事業の進捗状況

○既存庁舎の解体撤去工事

東庁舎、南庁舎（木造部分）、消防会館などの解体撤去工事を行いました。

○新庁舎建設工事

2月8日に入札を執行し、3月議会で議決を経た後、3月24日に次のとおり工事請負契約を締結しました。

・豊岡市新庁舎建築工事

〔契約の相手方〕

熊谷組・谷垣工業・共栄建設工業J.V（共同企業体）
・豊岡市新庁舎電気設備工事

〔契約の相手方〕

九電工・白菱・米田J.V

《今後の予定》

○既存庁舎の解体撤去工事

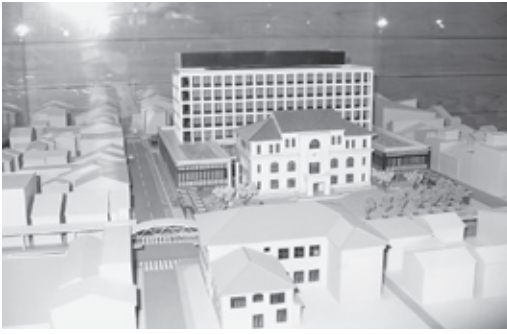
北庁舎、南庁舎（鉄筋コンクリート部分）については、新庁舎完成後（平成25年度）に解体する予定です。

○新庁舎建設工事

4月20日に安全祈願祭が行われました。本年度は、主に杭工事・基礎工事、免震工事や現本庁舎曳家工事などを実施します。

・豊岡市新庁舎機械設備工事

4月中に入札を執行し、議会の議決を経た後、工事請負契約を締結する予定です。



▲市役所新庁舎の模型（豊岡市民プラザに展示）

防災の取組み

《平成23年1月～3月取組み》

■職員研修の取組み

平成22年度は、職員の災害対応能力を高めるため、係長級以上の職員を対象として防災研修を実施してきました。

1月～3月は、机上訓練を含めて3回の職員研修を行いました。最終回は、関西大学社会安全学部長・教授の河田恵昭さん、NHK解説副委員長の山崎登さん、国土交通省近畿地方整備局長の上総周平さんなどを招き、ひばこホールで、市民参加による「とおか環境・防災フォーラム」を開催して1年間の研修の締めくくりとしました。

○1月28日：水害時の体制
○2月10日：机上訓練
○2月20日：とおか環境・防災フォーラム（市民参加）

■防災ワークショップ

国土交通省とNPO法人環境防災機構の協力を得て、平成22年11月から3回にわたって高屋地区で防災ワークショップを開催しました。

○1回目（11月14日）

市政出前講座を実施。本市における災害リスクと自主防災の必要性について市職員が講義

○2回目（12月23日）

区内を歩いて危険箇所を点検し地図に落とす。

○3回目（1月29日）

適切な避難経路と避難行動を参加者で議論し、最終的に高屋区独自の防災マップを作成

区単位で作成する防災マップは、作成過程でさまざまな議論をされることで、危険箇所や緊急時の避難行動を参加者で共通認識することができ、地域の防災力を高めることができます。

市は、引続き各区の防災マップ作りを支援します。



▲防災ワークショップの様子

■市

- ・地盤改良工事完成
- ・駅前広場整備工事（その1）発注

■JR

- ・新豊岡駅舎完成
- ・旧駅舎解体工事完了

《平成23年4月～6月の予定》

■市

- ・駅前広場整備工事（その1）：4月着工
- ・駅前広場整備工事（その2）：6月発注

※駅前広場整備工事の着工に伴い、4月1日から駅前広場内への車の進入ができません。工事期間中は、駅前駐車場（30分未満の利用は無料）を利用ください。

※新しい豊岡駅前広場は、本年度末に完成予定



▲駅前広場整備工事着手